

飛騨市介護保険運営協議会 委員の委嘱

岐阜県認知症介護指導者 岩佐 渉 キーワード: 学識経験者 認知症介護 介護保険運営協議会

活動の概要(活動の主体:その他(法人・行政))

【活動目的】

認知症介護指導者を背景に飛騨市の介護保険運営協議会の委員として委嘱を受け、介護保険や老人保健福祉に関する施策の企画立案に関与すること。

【活動内容】

次の事項について協議に参加する。

- 1 市介護保険事業計画の策定または変更に関する事項
- 2 地域密着型サービス事業や地域密着型介護予防サービス事業に関する事項
- 3 市の介護保険および老人保健福祉に関する施策の実施状況の調査や、その他介護保険および老人保健福祉に関する施策に関する重要事項

なお、任期は2年であり、岩佐は平成28年度～令和元年度まで2期、委嘱を受けた。

活動のきっかけ、背景(指導者としての立場で)

グループホーム輪設立及び運営に携わり、市の介護保険課とも連携を密にしていた。

平成27年に岩佐が認知症介護指導者の資格を得たことで委員要件である「学識経験者」を満たすこととなり、市の介護保険課担当者より委嘱の打診を受けた。

法人の許可を得て平成28年度に飛騨市介護保険運営協議会委員の委嘱を受けることとなった。

活動の経過と成果

【活動の経過】

- 平成28年6月 第1回飛騨市介護保険運営協議会
- 平成28年10月 第2回飛騨市介護保険運営協議会
- 平成29年2月 第3回飛騨市介護保険運営協議会
認知症サポーター養成講座
- 平成30年10月 第1回飛騨市介護保険運営協議会
- 令和元年8月 第1回飛騨市介護保険運営協議会

【活動の成果】

平成30年は介護保険料改定の年であり、介護保険料や飛騨市の介護保険事業計画の策定に認知症介護指導者として参画できたことは、認知症ケアの普及啓発に貢献することができたと思います。

介護保険運営協議会では介護保険料の基準策定の他、飛騨市の介護保険財政の確認、サービス提供や介護人材確保策に関する協議を行い、飛騨市の介護保険運営に貢献しました。

また、認知症介護指導者の知識を活かし、認知症サポーター養成講座や成年後見制度について意見を表明するほか、平成29年には認知症サポーター養成講座も実施しています。

なお、委員として委嘱されているメンバーは医師、介護保険被保険者代表者、社協、医療関係者、介護事業関係者、学識経験者から10名が委嘱を受けている。

今後の展望

法人内の異動により飛騨市を離れたため、現在は委員の委嘱は行われていない。

しかし、同法人内に認知症介護指導者は多数在籍しており、今後、同協議会における「学識経験者」として認知症介護指導者が委嘱される可能性がある。